令和８年度　第１回赤門スクール実施報告

趣　旨	飯田下伊那の歴史、文化、自然をテーマに講演会を開催することにより、地域の財産への関心を高める。
日　時	令和８年　７月９日（木）
会　場	飯田合同庁舎　３階　講堂
内　容	講演 演題　「ツツザキヤマジノギクの保全活動と生徒の学び」 講師　小島　愼司　氏 （松川町ツツザキヤマジノギク保全協議会） 高校生2名、探究コーディネーター1名
参加者	45名





「ツツザキヤマジノギクの保全活動と生徒の学び」第１回赤門スクールでは、松川町ツツザキヤマジノギク保全協議会の小島愼司さんに、10年以上行ってきた保全活動について、一緒に活動した高校生や探究コーディネーターと共に発表していただきました。
　以下、参加者の感想の一部を紹介します。

〇とても分かりやすい発表で､身近にこの様な貴重な花が存在する事がとても嬉しく思います。普通の野菊との違いが理解できました。活動が次の世代に受けつがれている事がすばらしい財産だと思います。
〇高校生も発表に参加していただき､一緒に考え､活動､行動する体制ができてきていることはすばらしいです。
〇高校生すごい！それを支えた地域の人もすごい。つながったからこそ生まれるものは大きく､希望とエネルギーをもらえた赤門スクールでした。

　参加された皆さんが、身近な自然を協力して守ることの価値に触れる時間になりました。

（南信教育事務所飯田事務所）